

＜都市整備・計画，公園整備関連部局＞
役割：歩きやすい環境づくり

県・市の都市整備・
計画部局
公園整備関連部局

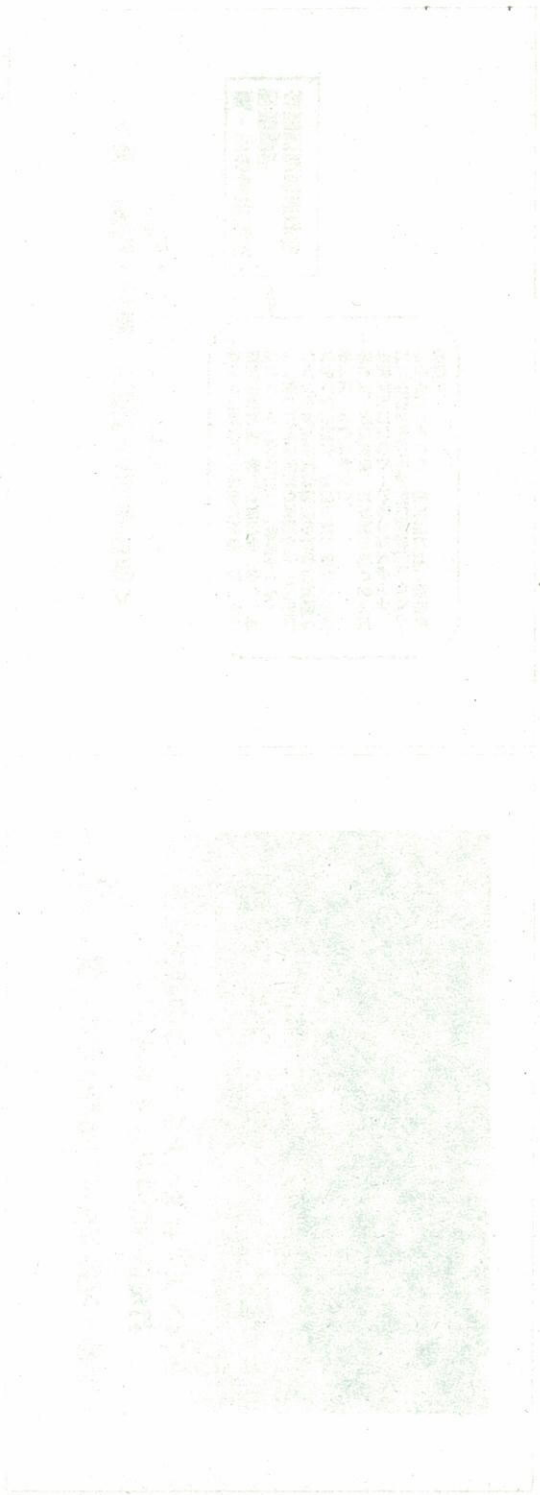
- ・歩道と自動車道の明確な区別，自動車制限区域の設置，横断歩道の利用のしやすさなど，Walkability「歩きやすさ」を意識した環境整備の施策を行った際に，これらの環境を運動実践のために利用できることを掲げ，同時に運動指針の公刊をアピールしてもらおう。
- ・散歩道，自転車道，公園内の道しるべに運動指針ロゴのシールをつけてもらおう。
- ・高速道路SAの散歩道に運動指針ロゴマークを置いてもらい，運転者に軽い散歩を勧める。

37

従来：思いつきや経験に頼った普及・啓発

Social Marketingの枠組みは
普及啓発のガイドラインを与えてくれる





運動指針小委員会

■運動指針の啓発・啓蒙（案）

- 1) 特に健康作り、生活習慣病予防の意味からも、そして高額な医療費や特別な施設、道具等がなく行える「ウォーキング」を国民運動として発展させることが重要。
- 2) その啓発啓蒙として、現在世界的にすすめられている「Bone & Joint Decade」、つまり日本での「運動器の10年」運動と連動する。また、日本ウォーキング協会等とも連動して「歩け、歩け運動」を推進する。
- 3) 「運動器の10年」日本委員会では今年度から「コツコツウオーク」と銘打って、「歩け、歩け運動」を実施予定。全国数カ所で数千人規模を予定。全国の企業や公共施設でも定期的に実施させる。
- 4) 毎月、歩け歩け週間を設置し、国の温暖化対策運動のように、国からマスコミなどへアピールして国民に歩く習慣を身につけさせる。

慶應義塾大学医学部
整形外科学教室
戸山芳昭